

授業科目名・形態	認知症ケア論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	菅原 聡	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識を習得する学習とする。

【到達目標】

認知症の方を中心にして支援するというパーソンセンタードケアの考え方から、認知症ケアは、個別性を重視した生活支援型ケアが主流になってきている。さらに、認知症の方を社会で支えるために、住み慣れた地域で生活をしていくというサポート体制が創られつつある。様々な生活上の生きづらさをもっておられる方々の心身の状況を学び、ご本人の権利を護り、生活支援を含めたケアのあり方を学習する。具体的にはこれから行われる施設実習時に授業で学んだことを十分活用できるようになることを目標とする

【授業計画・内容】

- 第 1 回 パーソンセンタードケア
- 第 2 回 アセスメントツール
- 第 3 回 認知症の人とのコミュニケーション
- 第 4 回 認知症の人へのケア
- 第 5 回 認知症の人へのアプローチ
- 第 6 回 認知症の人の終末的医療と介護
- 第 7 回 環境づくり
- 第 8 回 家族への支援
- 第 9 回 介護福祉職への支援
- 第 10 回 制度・サービス・機関・地域づくり
- 第 11 回 若年性認知症の人への支援
- 第 12 回 認知症当事者による支援
- 第 13 回 多極種連携と協働
- 第 14 回 認知症ライフサポートモデル
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

講義内容をしっかり理解し、予習ではなく復習に重点をおいて履修してください。これから行われる施設実習で軽度から重度の認知症の方と接しますので講義で学んだことを充分役立ててください

【主な関連する科目】

高齢者福祉論 地域福祉論

【教科書等】

最新 介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 中央法規出版

【参考文献】

必要時、資料配布 DVD 鑑賞

【成績評価方法】

筆記試験 80%、平常点 20%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

介護老人保健施設で介護主任として勤務し、相談室主任としてソーシャルワークを行い地域、病院、行政とも連携し、県の認知症研修の企画、講義、実習を行ってきた。その経験の体験、経験をもとに理想論でなく、実践論を学生に伝えたい。

【学生へのメッセージ】

毎日、認知症専門の施設で彼らと生活を共にしている実践者の授業です。認知症の方の心身の状況について共に学び、これからの社会がどうあるべきかを考えていきましょう。積極的な授業参加を期待します。